

# 令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

1 頁

## 1. 事務事業の概要

完了  評価対象  行計対象

事務事業名 (中事業)	29628 西脇ファッション都市構想推進事業				
基本政策	04 地域特性を生かした産業とにぎわいがあふれるまち				
政策	01 地域に根ざした商工業を振興する				
施策	01 地場産業の競争力を強化します				
実施形態	一部委託				
事業期間	単年度				
要求区分	新規	予算区分	政策		
事業の実施を市に義務づける国の法令					
有 無	なし				
法令名 条 項					
予算科目	01-070102-070100				
部 名	26 産業活力再生部	課 名	02 商工観光課		
課長名	板場 逸史	T E L	0795-22-3111	内 線	2020

## 2. 対象・目的・内容

事業概要	<p>本市の地場産業である播州織の振興に向け、ブランド力の強化・向上を図るための施策・事業を推進する。地域内での付加価値を増大することで、地域経済の活性化と基幹産業としての再生を図るための支援として、関係機関や事業者へ補助金等を交付する。</p> <p>【R2の具体的な事業内容】</p> <p>西脇ファッション都市構想の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デザイナー等育成支援（受入事業者への補助金の交付）</li> <li>コワーキングスペース（共働作業場）運営支援（運営経費の助成）H29～</li> <li>播州織相談員支援（相談員設置経費の助成）H29～</li> <li>デザイナー支援としてのセミナー・講演会等の開催</li> <li>播州織製品プロモーション事業</li> </ul>
事業の対象 (誰・何を)	播州織関係事業者（産元商社・織布業者等）
事業の目的 (どういう状態にするために)	地場産業である播州織の付加価値を高め、地域内の事業者の経営基盤の強化と収益向上の改善を図り、地域経済の活性化に寄与する。
事業の内容 (どういう内容を行うのか)	事業概要のとおり

## 3. 年度別事業費

(単位：千円)

	事業費							
	国庫支出金	県支出金	地方債	分担金負担金	使用料手数料	その他	一般財源	
平成30年度決算額	37,645	18,249	0	0	0	0	19,396	
平成31年度決算額	25,494	12,165	0	0	0	0	13,329	
令和02年度決算額	15,430	8,835	0	0	0	0	6,595	
令和03年度予算額	18,882	8,845	0	0	0	0	10,037	

## 4. 総コストの概算

(単位：千円)

令和2年度のこの事業に従事している職員数		従事職員数	人件費(A)	令和2年度決算額(B)	総コスト (A) + (B)
一般職員	嘱託・臨時職員				
0.80	0.00	0.80	6,233	15,430	21,663
事業費の主な用途 デザイナー研修生の育成支援など					

# 令和3年度 当初予算事業の概要説明書

(兼評価説明書)

2 頁

## 5. 事業の実績・目標

活動 指標 ①	指標名	デザイナー育成支援				単位	千円
	説明や数式	補助金額。デザイナーを研修生として受入れ、雇用する事業所に対して補助金を交付。1人つき1月当たり15万円上限。					
	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値		11,600	6,540			
	実績値	23,284	11,304				
	経費(千円)	23,284	11,304				
①	単位当たりのコスト	1	1				
活動 指標 ②	指標名					単位	千円
	説明や数式						
	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値						
	実績値						
	経費(千円)						
②	単位当たりのコスト						
成果 指標 ①	指標名	デザイナー研修生受入れ人数				単位	人
	説明や数式	年度中に新たにデザイナー研修生として受けられた人数とこれまでからデザイナー研修生として受けられた人数の合計					
	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値		24	24			
	実績値	24	24				
	経費(千円)	23,284	11,304				
①	単位当たりのコスト	970,17	471				
成果 指標 ②	指標名	残系の収集数				単位	個
	説明や数式	織物工場等から不要となった糸を再利用するために収集した数(累計)					
	年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	目標値		1,000	1,400			
	実績値	980	1,247				
	経費(千円)	0	0				
②	単位当たりのコスト	0	0				
実績・成果 等の説明	デザイナー育成支援や残系の利活用によるコスト削減など競争力強化を支援することで、播州織の最終製品の増加につながり、さらにブランド化の推進となり、播州織の振興を図る。デザイナー育成は、当初15人の誘致、育成を目指していたところ、令和2年度末で累計24人となった。そのうち、1人は市内で起業し、自社ブランドを立ち上げている。また、別の1人は起業に向けて準備を行っている。デザイナー研修生等に対し、最終製品化や販路拡大の研修等を開催しており、起業希望者に対しては、起業アドバイスや相談会など起業後も支援を行っている。						

## 6. 評価

1 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 4	事業の必要性 : 1	実施主体の妥当性 : 5
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方 : 1	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 5
	説明	改善・見直し 西脇ファッション都市構想は当初の5年間を延長し7年間に延長し、デザイナー育成事業、研修・アドバイス支援など人材育成を中心に行ってきた。産地内の課題である最終製品の創出とブラン化を図るために、人材育成とともに創作活動ができるコワーキングスペースの運営支援を行っている。令和3年度で構想期間である7年を迎えるため、人材育成から最終製品化とブランド化を中心に事業展開を見直す必要がある。		
2 次 評 価	評価ポイント	事業の優先度(緊急性) : 2	事業の必要性 : 1	実施主体の妥当性 : 5
	事業の総合評価	直接のサービスの相手方 : 2	受益者負担の適切さ : 5	市民ニーズの把握 : 4
	説明	改善・見直し 人材育成支援については、当初目標である15名を上回る24名が事業参加し、うち半数が現在も在職、また起業に繋がる事例もあり、播州織の普及促進に寄与している。また、コワーキングスペースについては、デザイナー間の交流や意見交換の場となっており、創作活動の拠点として有効に機能している。 今後は、生産から製品化までの一貫体制による輸送コストの縮減や納期短縮のメリットを生かし、より最終製品化に特化した支援事業としての再編成が望まれる。		